

1. 件 名：新規制基準適合性審査に関する事業者ヒアリング（東海第二（631））
2. 日 時：平成30年1月30日 15時30分～16時15分
3. 場 所：原子力規制庁 8階企画課横会議室
4. 出席者

原子力規制庁：

（新基準適合性審査チーム）

宮本管理管補佐、正岡安全管理審査官、角谷安全審査官、日南川安全審査官、吉村安全審査官、千明技術研究調査官、皆川保安規定係長、穂藤保安規定係長、竹内技術参与

事業者：

日本原子力発電株式会社：発電管理室 副室長 他6名

5. 要旨

- (1) 日本原子力発電から、東海第二発電所の設置許可基準規則等への適合性のうち、廃棄物処理棟の耐震性等及び使用済燃料乾式貯蔵容器の遮蔽計算について、本日の提出資料に基づき説明があった。原子力規制庁から主に以下の点について指摘を行った。

<廃棄物処理棟の耐震性等>

- ALCパネル部等の調査結果については、波及的影響等の確認を行い、速やかに報告すること。
- ALCパネル部等の調査結果については、火災による損傷の防止及び外部からの衝撃による損傷の防止（竜巻）等の他の条文への影響を踏まえ提示すること。

- (2) 日本原子力発電から、本日の指摘等について了解した旨の回答があった。

6. その他

提出資料：

- ・ 東海第二発電所 ALCパネル部等への対応方針 スケジュール
- ・ DC、敷地線量評価等の評価スケジュール